

心理教育・家族教室ネットワーク 第11回研究集会(市川大会)のご案内

大会テーマ「エンパワメントでつなげるー当事者・家族・地域・病院」

第11回を迎える心理教育・家族教室ネットワーク研究集会を、国立精神・神経センターや家族心理教育の「国府台モデル」で知られる千葉縣市川市で開催いたします。市川市は、地域精神保健福祉活動でも、日本最初の公設精神障害者通所授産施設である南八幡ワークスや活発な民間地域精神保健福祉活動で知られるほか、包括型地域生活支援プログラムACTの実験プロジェクトや、千葉県の試行的事業マディソンモデル活用事業などでも注目されています。

このような土地柄を踏まえて、第11回全国研究集会では、「エンパワメントでつなげるー当事者・家族・地域・病院」を大会テーマに、心理教育によって、当事者・家族・地域・病院のそれぞれがエンパワーされて、より主体的に「つながって行く」可能性について、参加された皆さま方とともに考えて行きたいと思います。平成20年3月13日と14日の両日、2000人収容の市川市文化会館全館を借り切って大いに語り明かしたいと思います。多くの会員の皆さま、その他の精神保健福祉関係者の皆さま方のご参加を心よりお待ちしております。

■ 主催：日本心理教育・家族教室ネットワーク

■ 開催日：平成20年**3月13日(木)**・**14日(金)**

●この日をぜひスケジュール表に入れておいてくださいますようお願いいたします！

■ 会場：千葉縣市川市文化会館(JR本八幡駅はJR東京駅より約30分、秋葉原駅から23分)

主なプログラム

平成20年3月13日(木)

教育講演

「市川市で展開されているマディソンモデル活用事業と心理教育」伊藤順一郎(国立精神・神経センター精神保健研究所)
「心理教育普及・活用ツールキットプロジェクトの現状と可能性」後藤雅博(日本心理教育・家族教室ネットワーク代表幹事)

真剣討論「心理教育は精神医療・精神保健福祉を変えられるか？」

セミナー、ワークショップ、一般演題

懇親会

平成20年3月14日(金)

大会長講演「心理教育的アプローチの地域での展開～その可能性を探る」大島巖(日本社会事業大学)
シンポジウム 「エンパワメントでつなげる地域での心理教育

ー自立支援法のもとでどのように協働するのかー」

セミナー、ワークショップ、一般演題

クロージング & 真剣討論!のディスカッション

.....
■参加費：会員6000円(事前登録)・7000円(当日)／会員外7000円(事前登録)・8000円(当日)
当事者1000円／家族・学生2000円 懇親会費4000円(予定)
.....

■実行体制

大会長 大島 巖(日本社会事業大学教授／NPO法人地域精神保健福祉機構・コンボ共同代表)
副大会長 伊藤順一郎(国立精神・神経センター精神保健研究所部長／NPO法人コンボ共同代表)
副大会長 酒井 範子(NPO法人NECST理事長)
副大会長 塚田 和美(国立精神・神経センター国府台病院部長)
企画委員長 福井 里江(東京学芸大学准教授)

■事務局・連絡先

NPO法人 地域精神保健福祉機構・コンボ(担当：丹羽大輔)

〒272-0035 千葉縣市川市新田5-9-19

電話：047-322-1360 Fax：047-322-1361 Email：desk@comhbo.net

臨床心理士の資格をお持ちの方へ

この大会のプログラムに5時間以上参加した場合、(財)日本臨床心理士資格認定協会の研修ポイントになります(2ポイント)。大会当日、受付において手続きしてください。